



智己さん、大輝さん、拓巳さん(左から)

3兄弟レーサー さらなる高みをめざして！

やましたただいき たくみ ともき
山下大輝さん、拓巳さん、智己さん



夢のポートルレーサーに

時速80キロ以上の速さで駆け抜け、水上の格闘技とも呼ばれるポートルレース。レースは、1周600mのコースを3周し、その順位を競います。そのポートルレースの世界に飛び込んだのが、丹波篠山市出身のポートルレーサー(競艇選手)・山下大輝さん(27歳)、拓巳さん(22歳)、智己さん(19歳)の3兄弟です。

大輝さんや拓巳さんは、小さなころから両親に連れられて競艇場を訪れ、そのスピードと迫力に魅せられてポートルレーサーへの夢を胸に抱きました。また、智己さんは、大輝さんのレースを観戦し、その火花を散らす姿に憧れ、同じ道を歩むことを決めました。

そして、3人は福岡県柳川市にある日本モーターボート競走会の「ポートルレーサー養成所」の試験に合格。2020年に大輝さん、2022年に拓巳さん、2023年には智己さんが、それぞれ兵庫支部所属の選手として、プロデビューしました。

勝負に挑む！

山下3兄弟

選手たちは成績によって、上からA1級、A2級、B1級、B2級と級別にクラス分けされています。1年間を前期と後期の2期に分けられ、前期の成績によって次の期の級が決定されます。昇級すると、今まで出場できなかったグレードのレースにも出場できるようになります。

現在68勝の大輝さんはB1クラスで活躍しています。B1といっても限りなくA2に近いB1。昨年9月には初めて優勝戦に出場。3日間の予選を勝ち抜き、ポイント上位者による準優勝で2着以内に入り、上位6人が出場できる優勝戦へ勝ち進みました。「緊張は余りしませんでした。周りはA1クラスの方がいる中で好走できたことで、優勝する自信がつかしました」と大輝さん。「A級に上がるのはもちろんですが、優勝したらまた何か気持ちも変わると思いますし、皆さん認知してもらえるので、早く優勝してみたいですね」と熱い思いを話しました。

今年2月に1勝を飾った拓巳さん(B1)。「レースでは3着または4着になることが多かったのですが、初勝利のレースのときは、空いたスペースに自分がうまく突き抜けるような形でゴールできました。ようやく1着をとれてほっとしました」と振り返ります。「まずは優勝戦に出られるようにがんばりたい」とその思いを話しました。

現在約60戦に出場し、最高位は3位という智己さん(B2)。「デビューしてから、なかなか3着までに絡めない苦戦が続きました。しかし、先月のレースでは果敢に攻める強気のレースで1周目に3位の3着を守り、初めて着に絡むことができました。「自分がしたいレースができ、とても楽しかったです」とにっこり。「この半年間で、初勝利を上げられるようにがんばりたいです」と話しました。

さらなる飛躍へ

3人のレーサー人生はこれから。それぞれに夢や目標を伺うと、大輝さんは「いつかポートルレースのオールスターに出場したいです」。

A1クラスの中でファンから選ばれた人だけが出場でき、レーサーとして観客の方に認知されるので、ぜひ実現させたいです」と意気込みを語りました。

「30歳未満の若手レーサーのナンバーワンを決める『ヤングダービー競走』に出ることが大きな目標です」と話す拓巳さん。「一般戦ですが、まずは予選を突破して、準優勝戦や優勝戦に出れるよう腕を磨いていきたいです」と力強く話しました。

続けて、智己さんは「3年以内に『ヤングダービー競走』に出ること。直近の目標としては、まずは初勝利をあげることです。初勝利を上げるために、自分のイメージするターンと操縦を一致させて、ミスしないように練習していきたい」と思いを話しました。

最後に、3人は「丹波篠山では競艇は身近な存在ではありません。自分たちがいることで、少しでも興味を持ってほしいですし、ポートルレーサーを志す方が出てきてくれたらうれしいです」と笑顔で話してくれました。